

# 遮光シートと細霧冷房で夏期トマトの高温対策

農林水産研究所

夏期の高温時期において、寒冷紗遮光と細霧冷房によるハウス内の昇温抑制効果と収量に及ぼす影響について検討しました。

試験期間：2022年5月31日～2022年12月26日

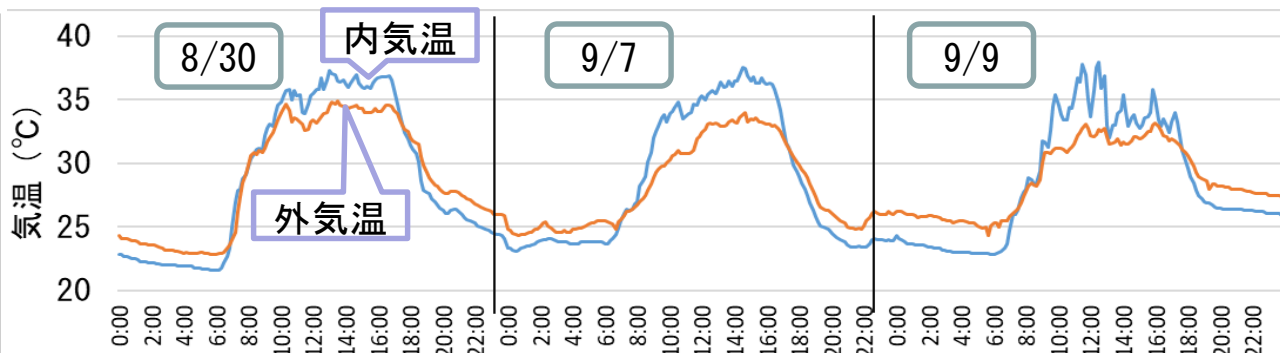
試験圃場：複合環境制御ハウス3号棟（200m<sup>2</sup>）

耕種概要：5月31日定植 大塚液肥A処方

ヤシガラハンモック高設養液栽培（4作目）

関連設備	稼働条件	8/30	9/7	9/9
天窗・側窓	25℃以上で開放	○	○	○
遮光シート 50%	外日射0.7kW/m <sup>2</sup> 以上で遮光	○	○	×
細霧冷房	30℃以上で 10分中2分噴霧	○	×	○

気温の推移



可販果収量

品種名	7月		8月		9月		10月		11月		12月		合計		平均 1果重 (g)	可販果 収量 (g)
	個数	重量(g)	個数	重量(g)	個数	重量(g)	個数	重量(g)	個数	重量(g)	個数	重量(g)	個数	重量(g)		
麗妃	32	5,748	35	4,311	21	2,349	16	2,417	29	5,011	16	3,236	148	23,072	156	1,318
エコシート	52	962	65	959	61	728	33	412	32	456	17	324	259	3,841	15	1,097
プチぷよ	45	566	86	796	115	792	53	370	62	542	20	202	380	3,268	9	934

- ・外日射0.7kW/m<sup>2</sup>以上で遮光、気温30℃以上で10分中2分の細霧稼働で昇温抑制効果が高くなりました。
- ・可販果収量は10a当たり9～13tでした（品種差あり）。